



株式会社スミ設備  
〒457-0805 名古屋市南区三吉町5-31  
TEL 052-612-4555 FAX 052-612-9011

[sumi.tcp.jp](http://sumi.tcp.jp)



# スミのトリセツ

S U M I U S E R ' S M A N U A L

お客さまと社会へのお約束  
**スミ設備の5か条**

- す** 水道事業における
- み** 未来設計にたずさわり
- せ** 生活と自然の両立のため
- つ** 常に考え行動し
- び** 美意識を高く持ち  
社会貢献活動に取り組む



# Profile

## 企業概要

### ご利用の前にご確認ください

常に信頼される企業経営に勤めています

全員の顔が見える会社だから  
 全員が責任を持って仕事をしています。

<p><b>社名</b> 株式会社 スミ設備</p> <p><b>代表者</b> 代表取締役社長 鷲見 康雄</p> <p><b>本社所在地</b> 〒457-0805名古屋市南区三吉町5-31</p> <p><b>営業種目</b> 給排水・衛生・空調・設備工事・建築設計</p> <p><b>資本金</b> 3,200万円</p> <p><b>創業</b> 1946 (昭和21)年10月19日</p> <p><b>設立</b> 1977 (昭和52)年5月14日</p> <p><b>役員</b></p> <p>常務取締役開発部長 川端 正一</p> <p>総務取締役 鷲見 律子</p> <p>経理取締役 伊奈 勝利</p> <p>取締役工事部長 村松 進</p> <p>監査役 武井 一男 (税理士)</p> <p>監査役 中山 信義 (弁護士)</p> <p><b>営業許可</b></p> <p>管工事業 愛知県知事許可 (特-24) 第24195号</p> <p>電気工事業 愛知県知事許可 (般-24) 第24195号</p> <p>名古屋市水道局指定給水装置工事業 第189号</p> <p>名古屋市上下水道局指定排水設備工事店 第189号</p> <p>一級建築士事務所 愛知県知事登録 (11-26) 第12034号</p>	<p><b>主要取引先</b> (株)安藤・間、(株)鍛冶田工務店、佐藤工業 (株)、大末建設 (株)、大日本土木 (株)、宝建設 (株)、TSUCHIYA (株)、鉄建建設 (株)、東洋建設 (株)、日本建設 (株)、(株)長谷工コーポレーション、名工建設 (株)、村中建設 (株)、矢作建設工業 (株) ほか (敬称略)</p> <p><b>取引銀行</b> 愛知銀行、大垣共立銀行、第三銀行、中京銀行、名古屋銀行、百五銀行、三菱東京UFJ銀行</p> <p style="text-align: right;"><small>※五十音順</small></p>
---	---

おいしい水は、美しい水源の環境から。  
 みなさまの快適な生活と水源を守る。  
 それがスミ設備のモットーです。

## スミ設備の歩みをご覧ください

お客様の声を指針として70年以上

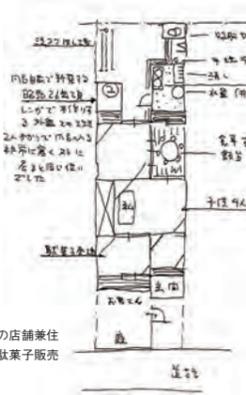
### 1946 昭和21年 「スミ水道工事店」個人営業にて創業



創業者・鷺見米吉は、岐阜県郡上八幡の出身。口減らしのために幼少時に北海道へ貰われて行ったが、成長後に愛知県へ戻った。東邦電力(現中部電力)、大同製鋼(現大同特殊鋼)に勤務した後、満州へ出征。終戦後に知人たちとの付き合いを活かし、水道工事店を創業。スミ設備の歴史は、ここから始まる。



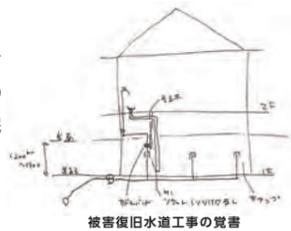
創業当時の店兼住居  
創業時は細長い敷地の店舗兼住居で、収入確保のため駄菓子販売も同時に行っていた。



### 1959 昭和34年 伊勢湾台風により大きな被害を受ける

名古屋市南部の被害は甚大で、街はほとんど水に浸かった。右上の写真は、鷺見水道工事店の屋根から撮影した被災当時の街の様子。道が川となって、そこに流木や建材が貯まり、住民が取り残されている様子が見える。鷺見米吉らは、自店の復旧は後回しにして、まずいかだを借りて、周辺の店舗や住居の水道修理をして回った(右写真)。

伊勢湾台風は9月26日に瀬神に上陸。明治以降最多の死者・行方不明者5,098名を出した。



被害復旧水道工事の覚書



### 「有限会社スミ水道工事店」設立

会社組織としての姿が整ったのがこの頃。その後、1972(昭和47)年に「有限会社スミ設備」へ商号を変更し、設立日の4月1日を創業記念日と定めた。さらに1977(昭和52)年には「株式会社スミ設備」へと変わり、現在に至っている。

### 1966 昭和41年



### 1986 昭和61年

### 本社を南区三吉町3-82へ移転

2階建の社屋を新築。当時は1階を倉庫、2階を事務所として使用しており、社員は10名ほどだった。電気工事や衛生・空調工事など、設備工事全般を請け負う会社へ成長していった。



### 2007 平成19年

2代目経営者・鷺見利幸は、木祖村の小学生をホームステイ先として引き受けたことをきっかけに、木曾川の源流である木曾川との交流を開始した。「自分たちが飲む水道水の源である村の環境を守りたい」との思いが出发点だった。

### 木祖村での植樹活動を開始



社員はもとより協力会社の応援も得て、植樹ボランティアや寄付金活動を開始した。



### 2008 平成20年

### 木祖村名古屋出張所を社内に開設

2代目経営者・鷺見利幸は、社内に木祖村の出張所を開設。初代所長は團中登志彦氏(現副社長)。情報交換や人的交流、商品開発など多方面の活動を展開した。



### 社内に一級建築士事務所を開設

技術の高度化と提案力の向上を図り、社内に一級建築士事務所を設置。建物をまるごと引き受けることのできる体制を整備した。また各種資格取得へのサポートや技術講習なども積極的に実施し、スタッフのスキルアップをめざした。

### 2010 平成22年



### 南区三吉町5-31に社屋を移転

もと印刷会社だった建物を購入しリノベーション。ゆとりある3階建の社屋で、屋上からは名古屋港の花火も見物できるため、合わせてBBQ大会を実施するなど、働き心地向上にも配慮している。

### 2014 平成26年



### 2015 平成27年

### 初の外国人実習生を採用

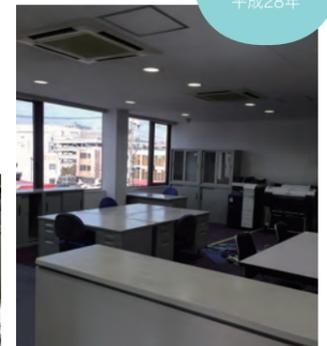
ベトナムまで面接に行き、2名の実習生を採用。初代実習生はヒエウとクイの両氏。働きながら、高度な技術をじっくりと習得できる体制を構築した。今後も継続して、実習生の受け入れを行っていく計画だ。



### 初の営業所を三重県桑名市に開設

お客様からの要望に応え、初めての営業所を桑名市大中央48-1に開設した。初代所長は増本順幸。

### 2016 平成28年



## こんなときにお使いください

企画設計から施工後までお任せください

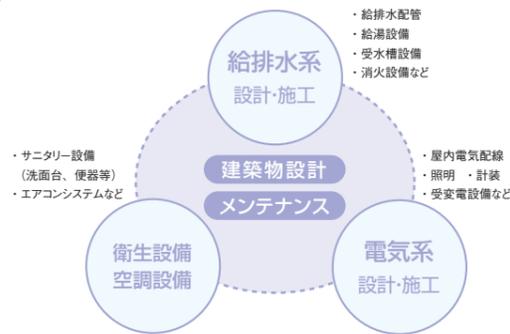
◎ スミでミスなく...

### ① 設計

#### 「ピタリと決まる設備設計」がほしいとき

給排水工事・電気工事・衛生や空調。スミは機能面から建物をつくります。

給排水や電気は建物に必須の機能。だからこそ問題も発生しがちです。私たちは専門家として、あらかじめトラブルを防止できる設計や施工方法をご提案します。



### ② 施工

#### 「いい加減な納まりは許せない」とき

面倒な仕様と厳しいチェックが実のところ、得意です。

我々を鍛えてくれたのは、とあるお客様です。難しい課題と厳しい点検、10年20年と挑んできた手応えが自信を育ててくれました。だからスミは難題「大歓迎」です。



施工状況はその都度、厳しくチェック。疑問点はその日のうちに解決するよう努めています。

### ③ 提案

#### 「クレームの出ない建物」をめざすとき

トラブル発生を設計段階から防止。あれこれ口を出すのでタマに嫌われます。

設備づくりで大切なのは建物とのマッチング。しかしこの構造では配管に無理が出る。水漏れの原因になる。そんな箇所を抽出し、時には設計改善もご提案します。



継手を減らし水漏れの原因をなくす。配水管の選択で排水音を低減する等々。建物の付加価値をあげる提案を行います。

### 60年以上の歴史と実績

#### 名古屋経済圏の下支えとして

スミ設備の創業は1946年。戦後間もない焼け跡から始まった60以上にわたる歴史は、名古屋経済圏の歩みそのもの。これからも私たちは確かな設備・建物づくりで地元発展に寄与して参ります。



### 名古屋城本丸御殿の復元工事に協力

#### 損得抜き文化貢献として

平成29年度完成予定の計画で復元工事が進められている名古屋城本丸御殿。焼失前と同等の歴史的文化的価値を有する建物の再現をめざすこの事業を、給排水など設備面からお手伝いしています。



### 技術を磨く会議・勉強会を毎月開催

#### もっとも重要な義務として

日々の業務に注意を払うのはもちろんのこと、トラブル発生時にはすぐに対策を講じ、またその内容を全社会議で報告相談。全員が業務改善に参加し、最新ノウハウを共有する体制をとっています。



### みんなのやる気を引き出す工夫

#### 高品質な仕事の原動力として

スミ設備では毎年、優秀社員や協力会社スタッフを表彰。特注ヘルメットの贈呈などを通じてやる気向上を図り、プライドを持ち自分の仕事に取り組む気風を、全社に広げる工夫を続けています。



◎ スミでスミよく...

### ④ 保証

#### 「長く愛される建物」をつくりたいとき

建物の価値は20年後、30年後にわかると信じています。

使う人・住もう人がいて初めて、建物の本当の価値は生まれるもの。だからこそ私たちは竣工から数十年を経たのち、より魅力が増す建物づくりをめざします。



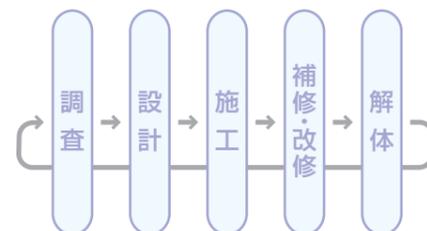
パイプ1本、配線1本ごとに、数十年後の姿をシミュレートしながら設計施工を行っています。

### ⑤ 視野

#### 「竣工後の心配をなくしたい」とき

土地調査から解体まで、建物をライフサイクルで考えています。

建設費用を抑えても、竣工後に問題が多発するようでは総コストは赤字。私たちは建物を調査から解体までの流れで考え、最適コスト・工程をご提案します。



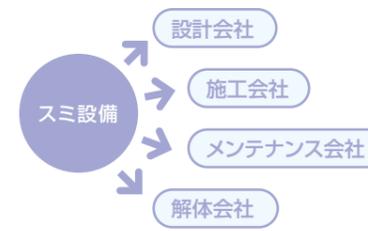
数十年のスパンで必要となる作業・時期をあらかじめ想定。だから無駄や無理がありません。

### ⑥ 体制

#### 「どんな案件も頼める相手」がほしいとき

スミ設備は小さな会社です。だから大きな協力会社網を持っています。

じっくり取り組む大規模建築から短期集中型の小型店舗まで。スミ設備は100社以上の協力会社網を活かし、それぞれ最適な人材選抜とチームづくりを行っています。



自分ですべて抱え込むより、専門分野は専門家に任せる。ただし管理・点検・責任はすべて引き受ける。これがスミ設備の基本姿勢です。

### スミのおスミつき!!

スミは設備工事の専門家ですが... 『鷲見一級建築士事務所』でもあります。もちろん「設備設計一級」資格も。

2010年、スミ設備は社内に一級建築士事務所を設置。設備設計はもちろん、建物づくりをまるごと引き受ける体制を整えました。給排水や電気といったインフラの専門家だからこそできる、機能的な建物をご提案します。



一級建築士 設計課課長 高木徳明

## こんな分野でお役に立ちます

ご希望に応じ多彩な仕事を遂行します

マンションから公共工事まで幅広いプロジェクトを請け負っています。

スミ設備の「仕事」は、表には見えません。しかしその建物を利用する方、住まう方にとってみれば一日たりとも欠かせない、大切なライフラインです。水や電気、空調など、見えないからこそ大切な建物の機能をスミ設備は確実に作り、守ります。

※五十音順

### 店舗・商業施設



木曾路 東刈谷店



じゃんじゃん亭 小田井店



豊橋スイミングスクール



老人ホームひまわり会館弥富

### 公共工事



徳重車庫区 地下鉄給水工事



名古屋城本丸御殿復元工事・車寄



同・表書院上段之間北西面



同・玄関二之間北西面

### マンション



ヴィラス・ヴィアーレ星ヶ丘の森



サンメゾン共和ヒルズアベニュー



ダイヤハレス桑名レジデンス



ファミリアール尾頭橋



ブレサンスロジェ上前津駅前



メイツ本郷レジデンス



ライオンズ桑名グランサイト

この「トリセツ」に記載されている内容は、私が責任を持って保証いたします。

## ごあいさつ

代表取締役社長 鷲見 康雄



3代目経営者 鷲見 康雄

戦後間もない昭和 21 年に、私の祖父・鷲見米吉が「鷲見水道工事店」を開業して以来 70 余年、弊社は「人との付き合いを大事にする」という家訓を代々引き継いで参りました。この先も変わることなく、歴史の中で培ってきた「技術と信頼」を礎に、創業者の熱い想いを守っていきたく思います。

また私の父・鷲見利幸は、平成 19 年より社会貢献の一環として、名古屋の水源である木曾川源流の里・木祖村で緑化活動を開始しました。現在も、夏には村でとうもろこしを作り収穫するなどの活動を続けています。

弊社では、私たちの生活と環境保護を両立させるため、未来の子孫のために「水道事業に従事している人間が水源を守る」をモットーとして、この活動を一日でも長く続けていきたいと考えております。また同時に、緑化活動により社員の感受性を高めると同時に、情熱あふれる使命感を育て、常に率先して行動する意識の向上を図っています。

今後は、そんな向上心豊かな社員と一丸となり、今までの歴史を顧み原点に立ち返りながらも、新しい実のある未来を設計する会社にならなければならないと考えております。

社である「技術と信頼」を基に、さらなる技術向上と、常に信頼される会社づくりに努めながら、建設業界の中で新しい風を吹かせられるよう日々精進致します。

これからも引き続き、微力ながらも、みなさまの快適な生活と、水源を守っていく覚悟でございますので、さらなるご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



2代目経営者 鷲見 利幸



初代創業者 鷲見 米吉

## スミ設備の歌「流転」

一 愛知名古屋の南の地  
身を起こしての築城は  
会社勤めの素人よ  
これから苦勞の始まりも  
いとわず進む主(あるじ)なり

二 城を大きくするごとく  
伊勢灣台風はねのけて  
オイルショックに立ち向かい  
まだまだ苦勞の連続も  
突き進みたる主なり

三 恩義情けを忘れず  
あゆみ信頼 城守り  
誇れる技術を糧にして  
次なる苦勞も乗り越えて  
進むは根性3代目

鷲見利幸が、スミ設備3代の歴史を思い2014年末、病床にて作詞作曲しました。

## スミ設備のもう一つの顔をご紹介します

社会への恩返しは義務と心得ています

### 木祖村との交流・植樹活動

わたしたちは、  
木曾川の源流、長野県 木祖村で  
水源を守る活動を続けています。

#### ■ 大切な水を守り、恩返しするために

長野県 木祖村の小学生が、名古屋でホームステイ学習をすることになりました。その受け入れ先を、2代目経営者の鷺見利幸が引き受けたことから、スミ設備と木祖村の交流が始まりました。

木祖村は、木曾川の源流にある村です。日々自分たちが施工している名古屋市上水道の水は、この子どもたちが住む村からやってくる——そんな知識が、小学生たちと出会ったことで、リアルな現実が変わりました。そこから「水を使い、汚すだけでは申し訳ない、源流の村に恩返しをしたい」という気持ちが生まれました。水道業に従事している人間が、水源を守る。この決意から、スミ設備の活動が始まりました。

#### ■ 自分の感性を磨き、育てるために

いま「上流域木曾」の森林は荒廃が進み、十分に水を蓄える力がありません。そこで天然のダムをつくるために2007年から植樹活動を始めました。木は土砂の流出を防ぎ、生態系を守ります。スミ設備では多くのご支援・ご協力をいただきながら年2回の植樹ボランティアを中心に、木祖村と共に寄付金活動、イベント開催などを行って参りました。

この活動の目的は、環境保護だけではなく、私たち一人ひとりが、活動参加を通じて自然の力を体感し、日頃忘れがちな自然に感謝する感性を育てていくこと。これも水道業に従事するスミ設備の使命だと考えています。



スミ設備の木祖村支援活動  
10周年マーク



### 白水小学校のミニ雪まつり

木祖村から雪を運び  
子どもたちに滑り台をプレゼント。  
これも恒例行事になっています。

木祖村との交流から、もうひとつの新しい活動が生まれました。長野県の山間部に降った雪をトラックに積み込んで、名古屋市南区の白水小学校へ直送。さらにこの雪の山を突き固めて、真冬の滑り台をつくっています。

超ミニサイズの雪まつりではありますが、この滑り台で遊んだ子どもたちは、木祖村に親しみを持ち、その名前を覚えてくれるでしょう。大人になっても、覚えていてくれるかもしれません。これもまた水源の村と名古屋で、両方の気持ちをつなぐ、交流活動の一環となっています。



### 社会を明るくする運動

名古屋市南区で  
健全な少年育成を  
サポートしています。

スミ設備は、2012年から補導歴のある少年たちを農業体験や植林ボランティアに招き、その立ち直りを支援してきました。また南区少年補導委員会への寄付も実施。これら青少年の非行防止と健全育成への貢献が評価され、2015年に南警察署から感謝状を頂きました。

